

NPOとの協働事例

【事例9】

事業名	子どもの縄文研究展 2006～縄文のメッセージ・私のメッセージ～		
実施年度	平成 18 年度	協働の形態	共催
事業内容	<p>学校において、「縄文」をキーワードとした「総合学習」を支援する“火焰街道博学連携プロジェクト”の一環として取り組まれたもの。</p> <p>平成 18 年度は、長岡市関原小・十日町市下条小・十日町市中条小・津南町津南小で取り組まれた成果を津南町、十日町市の博物館及び県立歴史博物館において巡回・展覧を実施した。</p> <p>○県立歴史博物館での展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間：平成 18 年 12 月 10 日～平成 19 年 1 月 14 日 ・入場者数：763 人 		
協働の相手方	団体名：火焰街道博学連携推進研究会		法人格（ <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無）
事業費（決算額）	— 円		
協働に至る経過 （協働事業を行ったきっかけ）	<p>【事業企画・提案者】 <input type="checkbox"/>県 <input checked="" type="checkbox"/>NPO</p> <ul style="list-style-type: none"> ・14 年度から導入された小・中学校における総合的な学習に縄文文化を取り入れようという取り組みが始められ、「縄文」をキーワードとして長岡、十日町、中里、津南の 4 市町村の連携交流事業が始められ、「信濃川」「縄文」というキーワードを持つ広域の地域を発展させる土壌がつくられた。 ・火焰街道博学連携推進研究会は、各地域の博物館と学校の有機的な関係づくりによってもたらされる様々な効果を実践によって検証する場として結成された団体である。 ・「縄文」をキーワードとした当該地域の博物館・学校・地域が連携する博学連携や学社融合のモデルとして平成 15 年度に同研究会から県立歴史博物館にプロジェクトの企画・提案があり、県として共催・協力することとなった。 <p>相手先の選定方法（※委託事業の場合のみ）</p> <p><input type="checkbox"/>随意契約 <input type="checkbox"/>企画コンペ <input type="checkbox"/>競争入札 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p>		
役割分担	<p>県：会場提供・展示指導協力・広報活動</p> <p>NPO：事業の計画立案、展示にかかる実作業・広報活動</p>		
協働事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・一過性の博学連携に留まらない、一年を通した極めて濃密な活動事例であり、地域をつなぐプロジェクトであることから、単なる子どもたちの学習の枠を超えた地域連携を推進するものとして捉えられる。 ・プロジェクトの成果については学会等での発表を通じ、広く認識が広がっており、全国的に見ても優れた「博学連携」の事例となっている。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトに参加する学校が限定されることから、多くの児童がこのような教育効果の高い活動に参加できるように努める必要がある。 ・市町村、県立歴史博物館、研究会の役割分担や連携の必要性を明確にして、地域ぐるみで取り組む体制作りが必要であり、それによって効果的な活動展開がなし得るものと思われる。 		
今後の協働事業実施の可能性	<p>全国的に見てもまれでモデルケースとなるような、「地域連携」、「博学連携」プロジェクトとして連携のコアとなる NPO（研究会）の役割は大きく、それを県としても支援し、今後も継続して協働を進めることが望ましいと考える。</p>		
事業担当部・課	県民生活・環境部 新潟県立歴史博物館（TEL：0258-47-6135）		

